



英語教育学、多文化教育、第二言語習得論 インクルーシブ教育

▶▶▶▶ 地域経営学科 教授 津村公博

1 - 研究・教育の原点 米国の大学・大学院におけるコミュニティサービスの意義

米国の大学や大学院では、学生がコミュニティサービス(地域貢献活動)を通じて、理論と実践を統合する機会を得ることができます。コミュニティサービスへの積極的な参加は、学生生活やキャリア形成において重要な役割を果たしています。私自身も米国留学中に、エスニック・マイノリティを対象とした学習支援活動に積極的に参加しました。この経験を通じて、コミュニティサービスが地域社会への貢献にとどまらず、参加する学生の個人的な成長を促すことを実感しました。特に、リーダーシップ能力、批判的思考能力(Critical Thinking Skills)、協働スキル(Collaboration Skills)を深める貴重な機会となりました。帰国後、私は日本の大学生には米国の学生以上に高い潜在能力があると考え、この能力を発揮できる環境を整えるため、コミュニティサービスの導入を推進しています。前述した研究分野に加え、大学生と地域貢献活動を推進する中で、研究の領域をさらに広げることができました。具体的には、市民教育(Civic Education)、地域連携教育(Community-Based Education)、批判的教育学(Critical Pedagogy)、持続可能な発展教育(ESD: Education for Sustainable Development)を含む分野が挙げられます。

2 - 地域貢献活動

2001年 CSN (College Student Network for Community Service): 大学生地域貢献団体、CSN浜松、CSN豊橋
CSN名古屋の設立支援

2012年 Minority Youth Japan: 海外につながる青年が主体となる教育支援団体の設立支援

2015年 浜松インターナショナルスクール設立支援

2016年 やまびこチャレンジ設立支援(中山間地域の伝統芸能の継承を目的とした大学生による団体)

2019年 わたぼうしグランドデザイン設立支援

2021年 わたぼうしグランドデザイン、浜松市によるNPO法人の認証の支援

2022年 一般社団法人 College Impact Japan (高校生・大学生によるソーシャルビジネスの支援)

☞ 海外につながる子どもを対象とした支援教室事業: 市内公立小学校、高等学校に在籍する海外につながる児童、生徒への学習支援(実績: 佐鳴台小、葵が丘小、静岡県立北高校、浜名高校等)

☞ フェアトレード: フィリピン共和国ダバオ市内の山間地域のIP(先住民)が多く在籍する児童の保護者から工芸品等を輸入し、浜松市内で販売。フィリピン共和国教育省Region XI(ダバオ市)と連携事業

☞ 中山間地域の伝統芸能支援: 浜名区「川名のひよんどり(国指定重要無形民俗文化財)」、天竜区「勝坂神楽(浜松市指定重要無形民俗文化財)」の継承活動。市内公立小中学校において、大学生による児童・生徒へ勝坂神楽継承指導(2024年度実績: 河輪小、気田小、犬居小、春野中学)

☞ 廃校となった旧川名小学校を舞台に、遠隔地の井伊谷小学校へバス通学している川名地区在住の児童・生徒を対象とした自然・歴史・アート活動。この事業では、川名地域への愛着を深めることを目的とし、歴史や自然に触れる体験を提供します。

☞ 「アクト通りふれあいディ」の大学生による運営と出店(高校生個人、クラス単位で参加可能)

